

# コンクリートます補修用立管

コンクリートますの老朽化にお困りでは？

ふたの劣化

雨水・地下水の浸入

木の根の侵入

Point

既設のコンクリートますを活用するため

◎ 施工が簡単 ◎ 早期復旧が可能



## ～ふたの更新に～

維持管理性向上、ガタつき、ふた・枠の破損、臭気漏れや不明水の解消など



更新前

塩じふた枠設置  
モルタル充填

更新後

## ～立上り部の更生に～

立上り部（側塊）継ぎ目からの不明水や木の根侵入の解消



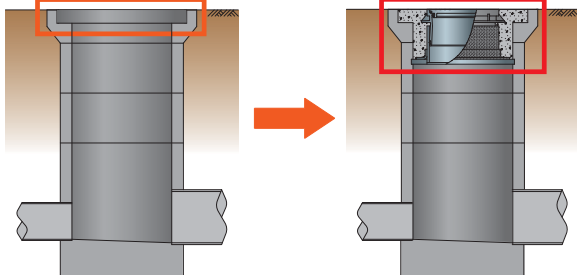
更新前

補修立管設置  
モルタル充填

更新後

ショートタイプが最適  
(立管長さ0.4m)

ふたの更新

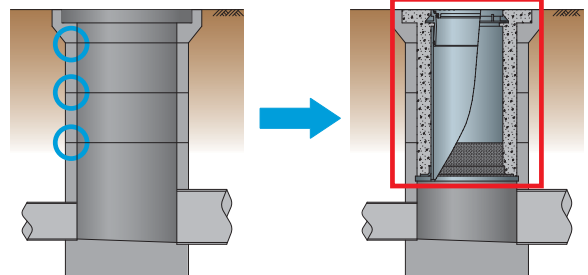


更新前

更新後

ロングタイプが最適  
(立管長さ0.8m<sup>\*1</sup>/1.3m<sup>\*2</sup>)

立上り部の更生



更新前

更新後

補修箇所まで補修用立管を挿入し、隙間に無収縮急結モルタルを充填するだけ

※1 立管口径200のみ  
※2 立管口径300のみ

# 製品仕様

## ■コンクリートます補修用立管

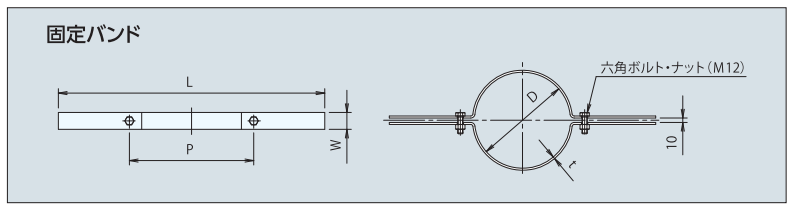
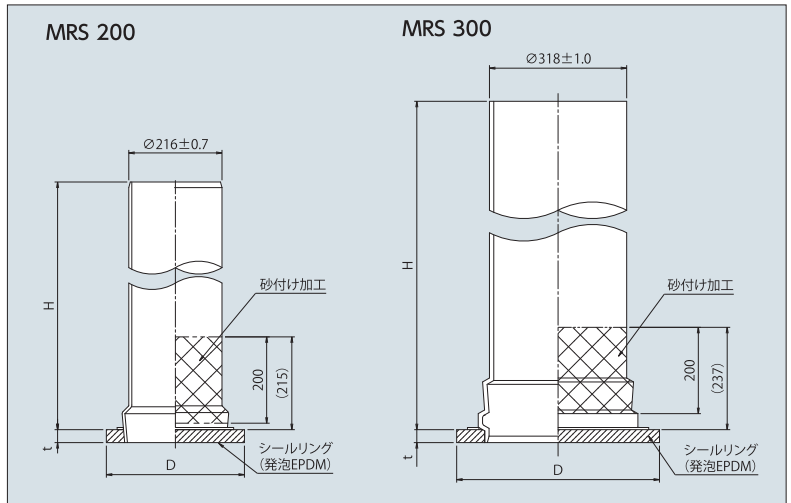
略号・サイズ	コード	適用CO ます口径	立管 口径	価格	梱包
New MRS200	(300-CO) × 0.4	5 245355-	300	25,000	1
	(300-CO) × 0.8	5 245350-		26,000	
	(350-CO) × 0.4	5 245356-	350	26,000	
	(350-CO) × 0.8	5 245351-		27,000	
New MRS300	(400-CO) × 0.4	5 245357-	400	27,000	
	(400-CO) × 0.8	5 245352-		28,000	
	(450-CO) × 0.4	5 245358-	450	30,500	
	(450-CO) × 1.3	5 245353-		32,500	
	(500-CO) × 0.4	5 245359-		31,500	
(500-CO) × 1.3	5 245354-	500	33,500		

略号・サイズ	寸法 (単位:mm)			
	H	D	t	
MRS200	(300-CO) × 0.4	400	340	25
	(300-CO) × 0.8	840		
	(350-CO) × 0.4	400	390	
	(350-CO) × 0.8	840		
MRS300	(400-CO) × 0.4	400	440	30
	(400-CO) × 0.8	840		
	(450-CO) × 0.4	410	490	
	(450-CO) × 1.3	1310		
	(500-CO) × 0.4	410		
(500-CO) × 1.3	1310	540		

## ■固定バンド

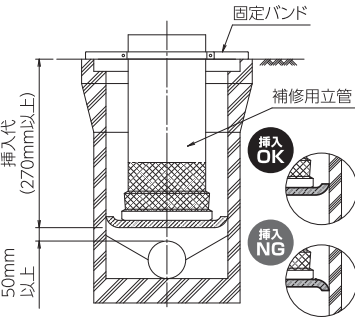
略号・サイズ	コード	適用 立管口径	価格	梱包
New KB200	5 245348-	200	5,300	6
New KB300	5 245349-	300	9,000	3

略号・サイズ	寸法 (単位:mm)				
	D	L	W	t	P
KB200	216	600	38	4.5	280
KB300	318	700	50	6	390



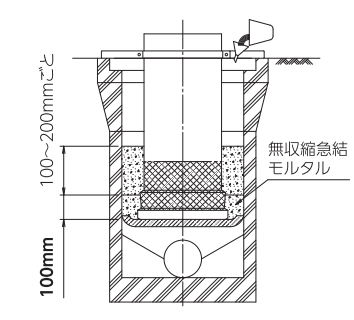
# ■施工手順

## ①立管挿入、固定



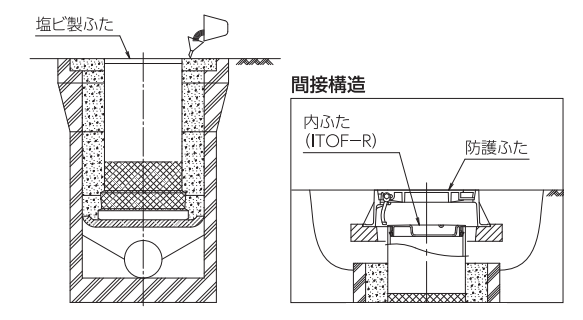
補修用立管をセットし、固定バンドで固定します。間接構造にする場合は、防護ふたの設置スペースを確保できる高さのコンクリートます塊を撤去してください。挿入後はシールリングの端面が上向きになっていることを確認してください。

## ②無収縮急結モルタルを充填



無収縮急結モルタルを隙間に流し込み固めます。最初に無収縮急結モルタルを100mm高さ程度流し込み固めてください。

## ③仕上げ



養生後、固定バンドを取り外し、立管をふたの厚みを考慮してカットします。ふたをセットして無収縮急結モルタルを流し込み、養生して完了です。間接構造にする場合は内ふた・防護ふたをセットし、埋め戻して完了です。



## 注意事項

### ◆設計上のご注意

- ・コンクリートます立上がり部のズレや凹凸が大きい場合には、ご使用いただけないケースがあります。
- ・補修用立管の挿入代は「コンクリートますの端面から270mm以上」かつ「流出管（流入管）の管頂から50mm以上」を満たす範囲で設定してください。
- ・製品性能低下の恐れがありますので、無収縮タイプ以外のモルタルは絶対に使用しないでください。

### ◆輸送・保管上のご注意

- ・高所からの落下、投げ捨て等による過度の衝撃を加えないでください。
- ・補修用立管のシールリング部分に曲げなどの負荷がかからないようにしてください。
- ・補修用立管は屋内で保管してください。やむを得ず屋外で保管する場合は、直射日光を避けるため熱気のこもらない方法によって保管を行ってください。

### ◆施工上のご注意

- ・製品同梱の施工手順書に従って施工してください。
- ・補修用立管の砂付加工部は切断しないでください。
- ・補修用立管を無理に挿入してシールリングが剥がれたり、破れたりしないよう注意してください。
- ・挿入後はシールリングの端面が上向きになっていることを確認してください。
- ・補修用立管は固定バンドなどで固定し、無収縮急結モルタルを充填してください。
- ・最初に無収縮急結モルタルを100mm程度流し込み固めてください。残りの隙間は無収縮急結モルタルを一度に流し込み、100～200mmごとに流し込み、固めてください。



**アロン化成株式会社**

管材事業部

管材企画グループ 〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル  
TEL(03)3502-1449 FAX(03)3502-1452

東京支店 TEL(03)3502-1488 FAX(186045)750-1602  
大阪支店 TEL(06)6448-5125 FAX(06)6448-5193  
名古屋支店 TEL(052)203-0378 FAX(052)231-2918  
福岡支店 TEL(092)741-1412 FAX(092)712-2594  
仙台支店 TEL(022)291-5477 FAX(022)291-5479

広島支店 TEL(082)245-7100 FAX(082)245-7106  
札幌営業所 TEL(011)709-6011 FAX(011)709-6014  
北陸営業所 TEL(0766)44-1565 FAX(0766)44-1598  
四国営業所 TEL(0877)46-5201 FAX(0877)46-5202

お問い合わせは



コード番号が8ケタになっています。

2010年1月より、今までのコード番号に管理コードが追加され、コード番号が8ケタになっています。

No.115077 20.08.5Z.KW-2